

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

2 招集について

- (1) 招集所は、第2コーナー出入口付近（1500mスタート付近ゲート）外側に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。

種目		招集開始	招集完了
トラック競技予選	1～3組	30分前	15分前
	4～6組	15分前	競技開始時刻
	7組以降	競技開始時刻	15分後
トラック競技 決勝 (男子5000m, 少B男子3000m以外)		30分前	15分前
男子5000m 決勝	1組	30分前	15分前
	2組	15分前	競技開始時刻
少B男子3000m 決勝	1組	30分前	15分前
	2組	20分前	5分前
跳躍競技 (走高跳・少B走幅跳)		40分前	30分前
跳躍競技 (棒高跳・走幅跳・三段跳)		60分前	45分前
投てき競技 (ハンマー投・やり投)		50分前	40分前
投てき競技 (砲丸投・円盤投)		40分前	30分前

(3) 招集の方法については、次の通りである。

- ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。競技者は招集完了時刻（移動開始時間）5分前までに招集待機場所で最終点呼を受けなければならない。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバー標識を受け取る。
- ②携帯電話等、競技規則144条3(b)に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
- ③代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集開始時刻までに招集所の競技者係に申し出る。
- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものと扱う。
- ④出場種目を棄権する場合は招集開始時刻までに招集所の競技者係に申し出る。
- ⑤リレー競技に出場するチームは、「オーダー用紙」（招集所に準備）を、各ラウンド第1組の招集完了時刻1時間前までに、招集所の競技者係に提出する。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。なお、オーダー変更用紙は大会総務にて配布するので、必要に応じて申し出ること。

3 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードのつけ方については、競技規則第143条7,8を遵守する。
- (2) 一般、学生、中学生は県陸協指定のナンバーカードを使用する。なお、ナンバーカードは事前に競技場正面付近の選手受付で2枚配布する。
- (3) 高校生は県高体連陸上競技部会指定のナンバーカードを使用する。
- (4) トラック競技出場者は腰ナンバー標識をショーツまたは下半身の右側やや後方につける。3000m以上の競技の出場者は胸に特別ナンバーカードをつける。競技終了後、直ちに特別ナンバーカードを返却する。
- (5) 腰ナンバー標識及び特別ナンバーカードは招集所で配布する。

4 競技場内への入退場について

- (1) 招集所から競技役員の誘導により競技場に入場する。
- (2) トラック競技の競技者はフィニッシュライン到着後、競技役員の指示により競技場退場口から退場する。また、入賞者は当該役員が表彰者控所に誘導する。

- (3) フィールド競技の競技者の退場については、競技役員の指示に従って退場する。また、入賞者は当該役員が表彰者控所に誘導する。

5 競技の抽選、及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
 (2) トラック競技の決勝については、主催者が公平に抽選してレーン順を決め、その結果は招集所に掲示する。
 (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない場合は抽選とする。（競技規則167条2）

6 競技について

- (1) トラック及びフィールド内にはその競技を行う競技者並びに競技役員、補助員以外は立ち入ることはできない。
 (2) トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
 (3) レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 (4) 短距離走では競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
 (5) 競技規則第167条7により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
 (6) 4×100mRの第2, 3, 4走者は各自用意したマーカー（最大5cm×40cmの粘着テープ）を1個まで置くことができる。レース終了後は、第1, 2, 3走者がチームのマーカーを取り除く。走者間のテイク・オーバー・ゾーンは30mとし、ゾーンの入り口から20mが基準線となる。
 (7) 4×400mRにおける第3, 4走者は競技役員の指示に従い、前走者が200mスタート地点（黄色旗）を通過した順序で、内側から並び待機する。各走者間のテイク・オーバー・ゾーンは基準線を中心に20mとする。
 (8) すべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。この規則に従わなければ、そのチームは失格になる。
 (9) 男子5000m, 少年B男子3000m決勝は2組タイムレースで行う。
 (10) 競歩競技については、制限時間を設定する。（男子30分以内、女子35分以内にラスト1周に入ること。）
 (11) 跳躍競技、及びやり投の競技者は、主催者が準備したもの、または承認したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークル外側に使用することができる。
 (12) 三段跳の踏切板は、砂場から男子11m, 女子9mの地点に設置する。
 (13) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
 (14) 次の試技時間は、超えてはならない。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上*	30秒	1分	30秒
2~3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

*4人以上または各競技者の最初の試技

- (15) 走高跳と棒高跳で優勝者が決まり競技者が1人となり、世界記録かその他大会記録等に挑戦する場合には、定められた制限時間より1分長くする。
 (16) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。（競技規則第144条3（b）・4）
 (17) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。
 (18) ふるさと選手制度を適用して国体種目に出場する他県陸協登録者の競技結果については、秋田陸上競技協会登録者と同様に扱う。ただし、秋田県選手権者については秋田陸上競技協会登録者のうち最上位の者とする。
 (19) オープン参加で出場する他県陸協登録者については予選の行われるトラック競技の決勝への進出、フィールド競技のトップ8への進出は認めない。

7 バーの上げ方について

- (1) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になるまでは次のとおりとする。(ただし、天候やその他の条件によって変更することもある。その場合は、跳躍審判長が決定する。)

種目	区分	練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	1.70/1.85	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	3cm
	女子	1.40/1.55	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	1.64	3cm
棒高跳	男子	3.40/4.00	3.60	3.80	4.00	4.10	4.20	4.30	10cm
	女子	1.90/2.70	2.00	2.15	2.30	2.40	2.50	2.60	10cm

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーで行う。
(3) 任意の高さ及び棒高跳の支柱の位置で試技順に行う。

8 競技用具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。練習用としても、個人の用具を場内に持ち込んで서는ならない。

9 スパイクシューズについて(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)

スパイクの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。

10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表はアナウンスで行う。
(2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第146条に定められている時間内(同一日に次のラウンドが行われる場合にはアナウンス後15分以内、それ以外は30分以内)に、競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて Jury に文書で申し出る。

11 表彰について

各種目の表彰は第3位まで行う。入賞者は決勝終了後に表彰者控所で待機する。

12 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。【ウェアは着用時の大きさを判断する。】
(2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、正面スタンド下の医務室に連絡する。
(3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
(4) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は個人で管理する。大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
(5) 大会参加に際して提供された個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
(6) 災害時(地震発生を含む非常時)は慌てることなく、大会総務の指示に従って行動する。

練習会場の使用について

1 練習について

- (1) 練習は、各個人が指定された場所・時間で行い、事故防止には万全を期す。
- (2) 練習は担当競技役員の指示により、別項の「練習会場の使用について」のとおり安全に十分留意して行う。
- (3) 室内走路での練習は原則禁止する。【特別な場合は、大会本部から連絡する。】

2 主競技場の練習について

- (1) 主競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意する。

<主競技場のレーンの使用区分>

- ① 周回1～2レーンはタイムトライアル用。
 - ② 周回3～5レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用。
 - ③ 第1曲走路からバックストレートの6～9レーンは400mH。
 - ④ ホームストレート3～5レーンは短距離。
 - ⑤ ホームストレート6～7レーンは100mH。(少B種目を含む)
 - ⑥ ホームストレート8～9レーンは110mH。(少B種目を含む)
- (2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

3 補助競技場の練習について

- (1) 補助競技場のレーンの使用区分については、次のとおりとする。ただし、当日の競技種目により区分を変更する場合もある。各レーンとも、第4コーナーからホームストレートへの交点付近は危険なので特に注意すること。

<補助競技場のレーンの使用区分>

- ① 周回1～2レーンはタイムトライアル用。
 - ② 周回3～6レーンはリレーのバトンパスを含めた流し用。
 - ③ 第1曲走路からバックストレートの7～8レーンは400mH。
 - ④ ホームストレート3～6レーンは短距離。
 - ⑤ ホームストレート7～8レーンは100mH。(少B種目を含む)
 - ⑥ ホームストレート9～10レーンは110mH。(少B種目を含む)
- (2) スターティングブロックやハードルなど練習に必要な用具は各自設置し、責任をもって片づける。

4 投てき練習場の練習について

- (1) 投てき練習については安全面に十分配慮し、各団体の監督の責任において行う。
- (2) 投てき練習は、競技注意事項に記載した時間以外は認めない。

5 練習会場使用日程は次のとおりとする。

◎主競技場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目
7月5日(木)	12:00～16:30		投てき練習には使用できません。
7月6日(金)	男子棒高跳のみ7:00～9:15		
7月7日(土)	女子棒高跳のみ7:00～9:15		
7月8日(日)	使用できません。		

◎補助競技場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目
7月5日(木)	使用できません。		投てき練習には使用できません。
7月6日(金)	7:00~16:30		
7月7日(土)	7:00~17:00		
7月8日(日)	7:00~16:00 (予定)		

◎投てき練習場

	トラック 種目	跳躍 種目	投てき種目			
			砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
7月5日(木)	X	X	男 12:00-16:30	男 12:00-13:30	男 13:30-15:00	男 15:00-16:30
7月6日(金)			女 12:00-16:30	女 12:00-13:30	女 13:30-15:00	女 15:00-16:30
			男 7:30-16:30	男 13:00-14:45	少男 7:30-9:20	男 14:45-16:30
7月7日(土)			女 7:30-16:30	女 13:00-14:45	女 9:20-11:20	女 14:45-16:30
			男 7:30-16:30	少男 7:30-9:20	X	男 13:20-16:30
7月8日(日)			女 7:30-16:30	女 9:20-11:20		女 13:20-16:30
				男 9:30-11:50	男 11:20-13:20	X
女 7:30- 9:30				X	女 9:20-11:40	

- スタッフ（補助員）について
参加各高校より協力をお願いします。（詳細は別紙）

○ 競技終了後の清掃

1 日目	県北地区の高校	2 日目	県南地区の高校	3 日目	中央地区の高校
------	---------	------	---------	------	---------